
「11月11日」インターネットショッピング

岡山県上海事務所 馬小琳

(日中経済貿易センター上海事務所)

「11月11日」の由来

かつて、数字の「1」が4つ並んだ11月11日は「独身の日」と呼ばれ、若者にとって特別の日であった。この日に独身であることを祝ったり、愛情を求めていることを表明したり、両親から離れ完全に自立する日とされた、大学生の趣味文化の1つであった。

独身男女の数が増大するにつれ、「独身の日」の社会的認知度が徐々に高まった。現在インターネット通販業界は11月11日を利用し、大規模な割引活動を行い、「買い物カーニバル」の日となっている。

「タオバオ」(淘宝)と「Tモール」(天猫)

現在中国で一番人気があり、規模と実力も兼ね備えているインターネットショッピングサイトは、アリババ傘下のタオバオとTモールである。

タオバオは2003年10月に設立されたCtoC(個人間取引)のショッピングサイトで、設立して半年で、中国国内個人取引市場においてトップとなった。TモールはBtoC(企業と個人間取引)のショッピングサイトで、有名ブランドや直営店などで組織されている。

Tモールは2009年11月11日にインターネットショッピングの割引広告を出してから、大成功をおさめた。2012年にはアリババが「双十一」(ダブルイレブンの意味)を商標登録し、大きな話題となった。

11月11日の売上高

Tモールを中心としたアリババの11月11日の売上高は、2009年が5,200万元、2010年が

9.36億元、2011年が52億元、2012年が191億元、2013年が350.19億元、2014年が571億元、2015年が過去最高の912億元であった。

2015年11月11日にTモールは多数の世界記録を作った。この日4,500万人が同時にアクセスし、牛乳10,124,263リットル、ナッツ6,567,661kg、リンゴ641,899kg、蜂蜜269,821kg、自動車6,506台が購入された。

「11月11日」の問題

11月11日のセールに参加する業者は、数年間の経験を積み重ね、当日の忙しさと混乱への対応が上手になっているが、なかにはセール当日の売上げを楽観視し過ぎて、大量の在庫を抱える業者もいるようである。

11月11日は、宅配業界にとっても大きな挑戦となった。国家郵政局によると、2015年11月11日の宅配便注文件数は4.6億件、合計処理件数は7.8億件に上った。

多くの人々がインターネットショッピングを選択するなか、インターネット店舗の責任はますます重要になっている。返品、偽物、在庫処分や不良品の販売などを避けるため、インターネットショッピングの適切な監督や管理が必要とされている。

(データ出典：11月14日中商情報ネット)

(2015年11月)